

# 平成 27 年度事業報告

## 〔事業活動〕

平成 27 年 3 月 25 日開催の理事会において承認を得た平成 27 年度事業計画に基づき各事業を推進している。その概要は以下のとおりである。

### 1 国際相互理解の促進

#### (1) 講演会、シンポジウム等の開催

##### ア 国際理解講演会等の開催

会員をはじめ道民の国際理解を促進するため、講演会等を開催した。

##### ① 「平成 27 年度第 1 回 国際理解促進セミナー」

7 月 10 日（金） 札幌市 JICA 北海道（札幌） 参加者約 90 名

〈講演〉「“ラマダーン”を通して知るイスラーム文化」

宗教法人日本ムスリム協会北海道連絡事務所代表 須見啓司 氏

〈事例報告〉

・「JICA 北海道におけるムスリム研修員の受入れ

JICA 北海道研修事業業務課 福地健太郎 氏

・「ムスリムの北海道での暮らし」

北海道大学客員研究員 ヤセル・ホスニィ・アリ・エレワ 氏

（エジプト出身 獣医学博士）

※ セミナー終了後、北海道コンシェルジュ委員会主催・ハイエック協力による

「イフタール体験パーティー」を開催。

##### ② 「平成 27 年度第 2 回 国際理解促進セミナー」

2 月 23 日（火） 札幌市 TKP ガーデンシティ札幌駅前 参加者約 90 名

〈講演〉「イスラームの基礎を知る」

慶応義塾大学総合政策学部教授 奥田 敦 氏

共催／（公財）札幌国際プラザ

##### イ 北方圏講座の開催

北方圏諸国の産業経済や生活文化等に関する蓄積を学び、地域づくりについての情報交換を図るため他団体と連携し開催した。

第 1 回 5 月 26 日（火） 札幌市 かでる 2・7 参加者 60 名

「ウラジオストクの赤れんが建築群と街並み」

アレクセニエフ博物館館長 ヴィクトル・シャライ 氏

共催／（一財）北海道北方博物館交流協会、北海道文化財保護協会

第 2 回 5 月 28 日（木） 札幌市 ホテルモントレーエデルホフ札幌 参加者約 50 名

「スウェーデンの文化と教育から学ぶ」

東海大学国際文化学部デザイン文化学科教授 石塚耕一 氏

共催／北海道スウェーデン協会

第 3 回 7 月 6 日（月） 札幌市 ホテルモントレーエデルホフ札幌 参加者 38 名

「政権交代後のスウェーデンと今後の日本との関係」

駐スウェーデン日本国特命全権大使 森元誠二 氏

共催／北海道スウェーデン協会

- 第4回 10月31日(土) 札幌市 KKRホテル札幌 参加者約80名  
「老後の豊かなくらしのために～フィンランドの事例から学ぶ～」  
・「フィンランドの老人福祉の今」  
北海道教育大学名誉教授 笹谷春美 氏  
・「私たちの老後のくらし」  
元ラップランド大学副学長・事務局長 ユハニ・リルベリ 氏  
(同夫人) レイラ・リルベリ 氏

共催／北海道フィンランド協会

- 第5回 2月25日(木) 札幌市 かでる2・7 参加者約70名  
「今後の日ロの地域間交流」  
在札幌ロシア連邦総領事ファブリーチニコフ・アンドレイ 氏  
共催／NPO 法人北海道日本ロシア協会

## ウ 北太平洋地域研究事業（国際セミナーの開催）

北東アジアの政治経済・外交に関係する重要テーマについて海外の研究者等を招き、セミナーを開催した。

### ① 中国・北海道経済交流会議

中国の新たな発展戦略を通じて中国の現状、課題について理解を深めるため、中国社会科学院世界経済・政治研究所（I W E P）張宇燕所長らを講師に迎え、セミナーを開催した。

「中国・北海道経済交流会議特別セミナー～『一带一路』と『アジアインフラ投資銀行』」

2月1日(月) 札幌市 北海学園国際会議場 参加者約80名

〈基調講演〉『一带一路』戦略構想：理念から現実へ」

中国社会科学院 I W E P 所長 張 宇燕（チョウ・ウエン） 氏

〈コメント・質疑応答〉

・「『一带一路』戦略と中国の対外貿易」

同研究所 所長助理 研究員 宋 泓（ソウ・コウ） 氏

・「『一带一路』戦略とG20のインフラ整備投資」

同研究所グローバルガバナメント研究室主任 副研究員 黄 薇（オウ・ビ） 氏

・「アジアインフラ投資銀行(AIIB)の現状と挑戦」

同研究所国際金融研究室 研究員 高 海紅（コウ・カイコー） 氏

・コーディネーター 北海商科大学教授 西川博史 氏

共催／北海学園北東アジア研究交流センター、I W E P

### ② ロシアビジネスセミナー

他団体と連携し、対ロシアビジネスに関するセミナーを開催した。

「ロシアビジネスセミナー2015」

5月25日(月) 札幌市 北海道大学学術交流会館小講堂 参加者約60名

〈基調講演〉「ロシア経済の行方～直面する経済制裁、原油安、ルーブル安～」

北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター長・教授 田畑伸一郎 氏

(独) 石油天然ガス・金属鉱物資源機構主席研究員 本村真澄 氏

共催／NPO 法人ロシア極東研、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

### ③ 国際情勢セミナー

第1回 「カザフスタンセミナーⅡ」

6月3日(水) 札幌市 京王プラザホテル札幌 参加者約89名  
〈基調講演〉「可能性の大地 カザフスタン～北海道はそこに何を見出すか」  
在カザフスタン共和国日本国特命全権大使 蒲原正義 氏  
〈トークセッション〉

在カザフスタン共和国日本国特命全権大使 蒲原正義 氏  
北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授 宇山智彦 氏  
(進行) ハイエック調査研究部 吉村慎司

共催/北海道経済連合会、北海道商工会議所連合会、札幌商工会議所

第2回 「ボーダーツーリズム(国境観光)セミナー2015」

7月24日(金) 札幌市 ホテルポールスター札幌 参加者71名  
「日本最北のボーダーツーリズム(国境観光)～稚内・サハリンを結ぶ」  
〈報告〉『2015サハリン国境観光モニターツアー』に参加して」

ハイエック上席研究員 高田喜博

〈パネルディスカッション〉

稚内商工会議所副会頭 今村光壹 氏  
北海道教育大学国際地域学科講師 池ノ上真一 氏  
(株)エムツーリスト CSI ロシアセンター 第1営業グループリーダー 浜 桜子 氏  
ハイエック上席研究員 高田喜博

(コーディネーター) 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授 岩下明裕 氏

共催/北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター[境界研究ユニット]、境界地域研究  
ネットワーク JAPAN (JIBSN)、NPO 法人国境地域研究センター

第3回 「モンゴル北海道ビジネスセミナー」

11月4日(水) 札幌市 京王プラザホテル札幌 参加者約110名  
〈講演〉・「モンゴルー日本関係の現状」

駐日モンゴル国特命全権大使 S. フレルバートル 氏

・「EPA、モンゴルにおけるビジネスチャンス」

駐日モンゴル国大使館参事官 L. ダワージャルガル 氏

主催/駐日モンゴル国大使館、在札幌モンゴル国名誉領事館、モンゴ  
ル国「Khuree」ロータリークラブ

共催/経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市

第4回 「中央アジアの物流とビジネス環境」

3月3日(木) 札幌市 T K P 札幌ビジネスセミナー赤れんが前 参加者約50名  
「中国『一帯一路』構想と変貌する中央アジア～アジア広域ビジネスの可能性を探る」  
〈講演〉・「ユーラシアに拡大する中国物流 <一帯一路>の最前線」

明治大学商学部准教授 町田一兵 氏

・「中央アジアビジネスの展望」

一般社団法人海外運輸協力協会アドバイザー 浅海 茂 氏

(2) 国際関係情報の収集・提供

ア 調査研究・資料収集事業

各種対外経済交流関係の事業に参画し、調査・情報収集を行った。

① ロシア極東地域ビジネス展開モデル事業委託業務」の受託

8月24日～平成28年3月25日 委託元 北海道

(株)道銀地域総研、(株)FECマネジメントとのコンソーシアムにより受託

② モンゴルとの「貢献と参入」ビジネス促進事業への参画

ウランバートル市で開催されたフォーラム等に本道企業関係者らとともに参加し、

モンゴルの政府関係者や企業関係者等と意見交換などを行った。

- i) 「第1回モンゴル・日本モンゴル農牧業フォーラム」(6月)
- ii) 「北東アジア市長国際フォーラム」(9月)
- iii) 「モンゴル北海道ビジネスセミナー(道主催)」(11月)

③ 境界研究事業への参画

境界研究ネットワーク JAPAN「根室セミナー」(平成28年2月 根室市)に自治体関係者や研究者等とともに参加し、「境界地域」の振興やボーダーツーリズムについて議論を深めた。

④ ロシア極東・シベリア・中央アジアとの経済交流に関する調査訪問

サハリン州での「サハリン州・北海道経済ミッション」(10月)や「サハリンとの観光交流促進事業・アウトバウンドモニターツアー」(12月)を始め、「経済交流促進に関する中央アジア(カザフスタン・キルギス)訪問」(10月)、「ロシア水ビジネスミッション in イルクーツク」(平成28年2月)に、それぞれ本道企業関係者などとともに参加し、本道との経済交流の課題、可能性等を調査した。

## イ 国際情報ネットワーク事業

インターネットを活用して国際交流等の情報を集約・蓄積し、広く道民などに提供した。また、Facebookにより、事業の実施予定や実施結果に関する情報のタイムリーな発信に努めた。

ホームページアクセス数 4月～3月 月平均 3,564件

## ウ 年報発行

2015年版を8月に発行し、会員や関係団体等へ配付した。

## エ 国際協力情報収集提供事業

道内の国際協力活動などを紹介するため、国際協力情報紙「であい」を3回発行し、会員や関係団体、市町村等に配布した。

## オ 季刊誌「Hoppoken(北方圏)」の発行

会員を始めとした道民に、国際理解の促進に資する情報や、国際交流等の取り組みに関する情報を提供することを目的に、年4回、各1,500部発行している。

夏号(172号)7月発行 特集として米国の「政権とメディア」の関係性について取り上げ、情報規制を強めるオバマ政権や第4の権力としての米国におけるメディアの中立性について紹介。また、ハイエック研究員によるレポート「JAゆうべつ町の野菜、サハリンへ」やハイエック平成27年度通常総会の開催結果などを掲載した。

秋号(173号)10月発行 特集は、通算20年に及ぶロシア滞在経験を有する毎日新聞社モスクワ支局記者による「私が見たロシア人～モスクワからの報告」。また、帯広在住のフリーライターが帯広で熱を帯びるモンゴルとの交流を紹介した「『今なぜモンゴル?』から『今なぜ TOKACHI』へ」やハイエック主催の国際理解促進セミナー「イスラームを知る夕べ」の開催概要などを掲載した。

冬号(174号)1月発行 特集は、第2次世界大戦終結まで40年間日本領であったサハリン南部「樺太」を取材した「戦後70年樺太を歩く」と、また、50万人近い旅行者を北海道に送り込む台湾との今後の交流のあり方を提起する「台湾と北海道～交流時代の課題」。また、2015年ミラノ万博における北海道の取り組みやサハリン州、南米ペルーとの姉妹都市交流をもとに地域活性化に

取り組む剣淵町を紹介した。

春号（175号）3月末発行 特集は、毎日新聞中国総局長による「北朝鮮と音楽」。  
また2月に開催された「中国・北海道経済交流会議特別セミナー」、「第2回国際理解促進セミナー～イスラームの基礎を知る」の結果概要や平成27年度海外派遣事業参加者の感想文などを掲載。

### (3) 海外派遣研修

#### ア 海外派遣事業

海外の地域事情や関係機関の視察、関係者との意見交換等を通じて、国際的視野を持って地域づくりに貢献する人材を育成するため、道内各地の青年を海外に派遣した。

派遣期間：11月1日（日）～8日（日） 派遣先：ベトナム、インドネシア

参加者：道内青年6名

#### イ 高校生・世界の架け橋養成事業

##### ① 高校生・アジアの架け橋養成事業

様々な人々と協働できる国際感覚を持った人材を育成するため、将来の北海道を担う高校生を開発途上国に派遣した。

派遣期間：8月2日（日）～9日（日） 派遣先：ベトナム

参加者：高校生10名

その他：事前研修2回、事後研修2回、報告会7回（学校、市民向け）

##### ② 第6回済州青少年フォーラム2015

他地域からの参加者とグローバルなテーマについてディスカッションを行うとともに交流を深め、相互理解を図るため、韓国・済州特別自治道が主催する青少年フォーラムに道内の高校生を派遣した。

派遣期間：11月5日（木）～9日（月） 派遣先：韓国・済州島

参加者：高校生1名

その他：事前研修1回、報告会1回（市民向け）

### (4) 多文化共生の推進

#### 外国人にも暮らしやすい地域づくり推進事業

##### ① 多文化共生ネットワーク連携推進協議会の開催

「北海道多文化共生地域づくり推進協議会」において検討・協議した事項について、具体的な取組みを進めるため、道内の国際交流団体間のネットワーク構築に取り組むとともに、協働で多文化共生の実現に資する事業を実施した。

##### ・ 第1回会議の開催

9月30日（水） ハイエック会議室 構成団体 8団体（ハイエック含む）

##### ・ 共催事業

下記の事業について、構成団体と共催した。

多文化共生啓発事業

釧路国際交流ボランティアの会

多文化共生コーディネーター研修会

（一財）北海道国際交流センター

多文化共生ワークショップ

旭川市国際交流委員会

##### ② 多文化共生の各種取組み

道内各地域における外国人との共生に向けた環境づくりを一層推進するため、各種事業を実施した。

##### ・ 災害支援多言語サポーター事業

登録サポーター数 42人

- ・ 北海道在住外国人防災教育・訓練促進事業  
 外国人留学生を対象に、地震などの自然災害について正しい知識を習得するとともに、災害発生時における必要な情報収集や取るべき行動について訓練などを行った。  
 11月28日（土） 小樽市 小樽商科大学共催 参加留学生 20人
- ・ 多文化共生啓発事業  
 北海道の少子高齢化が全国を上回るスピードで進むとともに、外国人観光客も急増する中、外国人も地域社会を構成する一員として、地域の発展・活性化に資することを目的に講演会を開催した。  
 12月9日（水）釧路市 釧路国際交流ボランティアの会共催  
 「インバウンド促進と多文化共生～多文化共生のこれから」  
 講師：多文化共生センター大阪代表理事 田村太郎 氏  
 参加者 32人
- ・ 多文化共生コーディネーター研修会  
 多文化共生社会の実現を目指すため、道内各地域で活動する様々な分野の事業担当者（コーディネーター）を対象に研修会を行った。  
 3月17日（木） 函館市 30人 （一財）北海道国際交流センター共催
- ・ 多文化共生ワークショップ  
 （公財）札幌国際プラザ等と共催し、災害時に外国人が直面する課題等について考えるワークショップを開催した。  
 2月21日（日） 旭川市 参加者 20人
- ・ 多文化共生推進フォーラム ～ 多文化共生のための政策提言事業  
 「多文化共生推進プラン」が総務省より発表されてから10年が経つことから、多文化共生マネージャー全国協議会が政策提言のために全国数十カ所で開催するワークショップを共催し、道内における在住外国人や外国人観光客への対応や取組みについての報告、グループディスカッションなどを行った。  
 12月8日（火）札幌市 （特非）多文化共生マネージャー全国協議会  
 講演：「北海道のインバウンドと多文化共生のこれから」  
 講師：多文化共生センター大阪代表理事 田村太郎 氏  
 事例紹介：「国際リゾート都市“くっちゃん”の取組み」  
 事例紹介：「北海道の魅力外国へ発信！～外国人の視点から」  
 参加者 45人
- ・ 世界の料理教室  
 料理を通じて諸外国の生活・文化について学び交流を深めるため、関係機関と共催のうえ実施した。  
 10月4日（日） 岩見沢市 北海道ブラジル協会との共催  
 11月6日（金） 旭川市 日ロ文化交流会「リャビーナ」の会との共催  
 2月6日（土） 札幌市 北海道フィンランド協会との共催
- ・ 国際交流ボランティアの登録と派遣  
 登録ボランティア数 50人
- ・ 外国人サポートデスク
- ・ 留学生支援物品等登録事業  
 今年度登録数 8件

## 2 国際交流の推進

### (1) 諸外国との各種交流の実施

#### ア 日中青年交流の実施

平成 28 年度に北海道と黒竜江省の姉妹都市提携 30 周年を迎えることから、これにあわせて北海道訪問団を派遣することとした。

#### イ 北米訪問事業

北海道・アルバータ州（カナダ）姉妹提携 35 周年、北海道・マサチューセッツ州（アメリカ）姉妹提携 25 周年の両記念式典等に参列するため、北海道及び北海道議会の訪問団とともに両国を訪問した。

北海道・マサチューセッツ州姉妹提携 25 周年記念式典等

10 月 19 日（月） ポストン

北海道・アルバータ州姉妹提携 35 周年記念式典等

10 月 21 日（水） エドモントン

北海道・アルバータ州姉妹都市会議・懇談会

10 月 22 日（木） キャンモア

#### ウ 北海道外国訪問団受入事業

南米からの北海道出身移住者子弟の訪問団を受け入れ、「父祖の地・北海道」について理解を深め、一層の親善交流に資するため、本道関係者との交歓・交流や道内企業の視察等を実施した。

受入期間 1 月 28 日（木）～2 月 5 日（金）

パラグアイ青年訪問団 6 名

#### エ 日韓交流事業

北海道と韓国との特色ある交流・協力を創出するため、昨年度に引き続き、高齢化社会に対応した特色あるローカルスポーツを韓国（慶尚南道）に紹介し、交流を行った。

受入期間 9 月 16 日（水）～18 日（金）

訪問団 15 名（慶尚南道生活体育会、慶尚南道バレーボール連合会など）

交流場所 札幌市、旭川市

#### オ 他団体との連携による交流事業

##### ① カルチャーナイト

カルチャーナイトに参加し、道民に「世界のあそび」や「世界の民族衣装試着」など諸外国の文化体験の機会を提供した

7 月 17 日（金） H I E C C 会議室ほか 来訪者 72 人

##### ② 全国中国語スピーチコンテスト北海道大会

10 月 18 日（日） 札幌市 かでる 2・7 北海道日中友好協会との共催

##### ③ インターナショナルナイト

世界の青年の国際的なふれあいの場とするため、北海道青少年科学文化財団などと共催し、留学生と日本人学生等によるディスカッションや交流会を開催した。

12 月 13 日（日） かでる 2・7（主会場）

参加者 日本人 266 人、外国人 30 カ国 79 人

##### ④ 国際交流「DAY」事業

北海道と姉妹・友好提携地域とのより一層の交流拡大を図るため、北海道と共催して、各提携記念日等にそれぞれの地域の文化紹介イベントを開催した。

韓国・釜山広域市	5月20日(水)～21日(木)、9月16日(水)、 12月14日(月)～16日(水)
中国・黒竜江省	6月8日(月)～10日(水)
カナダ・アルバータ州	9月7日(月)～9日(水)
韓国・慶尚南道	9月16日(水)、12月14日(月)～16日(水)
韓国・ソウル特別市	” ”
ロシア・サハリン州	11月26日(木)～27日(金)
アメリカ・マサチューセッツ州	2月4日(木)～5日(金)
タイ・チェンマイ県	2月25日(木)～26日(金)

⑤ 国際交流定例講演会

5回開催 5月21日(木)、6月8日(月)、7月15日(水)、  
11月11日(水)、1月12日(火)、  
北海道国際女性協会との共催

⑥ 韓国大学生訪日研修団受入事業

(公財)日韓文化交流基金の委託を受け、外務省の主催事業である「JENESYS 2015」による韓国大学生訪日研修の地方プログラムを北海道庁等と連携して実施し、ホームステイの体験や小樽商科大学と学生交流などを行った。

11月13日(金)～16日(月) 韓国大学生 36名

(2) 留学生と道民との交流

ア 外国人留学生国際交流支援事業

道内大学に対する外国人留学生受入れ促進を支援するため、外国人私費留学生に修学助成を行うとともに、助成金受給者を「外国人サポーター」として登録し、地域の交流事業への参加等を促進した。(修学助成 月額1万5千円、50名)

イ 外国人留学生受入促進事業

外国人留学生の受入れを促進するため、海外の関係機関や大学・学生等に対し、道内大学のプロモーションを行った。

① プロモーションサイトの運営 (<http://study-hokkaido.com>)

② 留学ガイドブックの作成、配布

③ 日本留学フェア(日本学生支援機構主催)への参加

インドネシアにおいて、学生等へのプロモーション及び北海道や大学関係資料を配付した。

11月14日(土) スラバヤ会場 ブース来場者約150名

11月15日(日) ジャカルタ会場 ブース来場者約250名

④ 帰国者留学生向けメールマガジンの発行

帰国した外国人留学生に対し、北海道の今の様子や就職など各種情報を提供するメールマガジン「留学生サポーターだより」を発行し、本道の理解促進を行った。

(年3回)

ウ 留学生等地域交流の実施

外国人留学生等の北海道に対する理解を促進するとともに、地域住民との交流を推進するため、地域イベントへの参加や交流会の開催を行った。

北海道留学生ふれあい交流 in 新ひだか (中島記念国際交流財団助成事業)



(3) 海外移住者への支援

ア 移住者支援事業

北海道出身移住者で組織する各道人会の活動等を支援するため助成を行った。

ブラジル北海道文化福祉協会 在亜北海道人会  
全パラグアイ北海道人会連合会 サハリン北海道人会

イ 移住者子弟留学生受入事業

南米圏交流を促進するため、北海道出身移住者の子弟を留学生として受け入れ、修学を支援した。

受入 アルゼンチン 1名  
就学先 北海道薬科大学

(4) 各種交流事業への助成

国際交流助成事業

世界各地域との交流を促進し、北海道の生活文化や産業経済の発展に寄与するため、国際交流事業資産の運用益により、道内の交流団体等が実施する各種交流事業に助成した。

助成対象事業名	主催者	助成額(千円)
北海道・ロシア極東交流事業 (青少年「体験・友情」の船、市民交流会議)	北海道・ロシア極東交流事業 実行委員会	500
ドイツ・バルト海沿岸市民ブラスバンドとの音楽をとおした国際文化交流	旭川ドイツ交流協会	200
“イランカラプテ”ミュージック・フェスティバル 2015	“イランカラプテ”ミュージック・フェスティバル実行委員会	200
ソウルフレンドシップフェア「文化公演」	(特非) 民族歌舞団こぶし座	250
第6回日露交流演奏会	システィーナ札幌室内合奏団	150
国際協力フェスタ 2015	北海道 NGO ネットワーク協議会	200
第25回ジュニア大使訪問団派遣事業 並びに滝川西高校・ロングメドー高校 姉妹校提携事業	(一社) 滝川国際交流協会	200
第28回昭和新山国際雪合戦大会開催事業	昭和新山国際雪合戦実行委員会	200
第8回日台友好合唱会	日台友好合唱会実行委員会	150
計 9事業		2,050

(5) 地域、諸団体との連携

ア 地域連携ネットワーク事業

各地域や交流団体間の連携を促進するため、国際交流・協力活動等についての情報交換などを図る懇談会を開催した。

国際交流地域懇談会  
8月11日（火） 函館市  
10月13日（火） 旭川市

2月12日(金) 室蘭市

2月19日(金) 北見市

### イ 外国公館交流促進事業

在道の総領事館、領事館、通商事務所、名誉領事館等と連携し、地域の国際化を推進するための取り組みを実施した。

① 在北海道外国公館・通商事務所等協議会 総会

5月27日(水) 札幌市 ホテル札幌ガーデンパレス

② 学校訪問事業

道内中学校・高等学校からの要請に基づき、在道外国公館の総領事等が学校を訪問するなど、生活・文化の紹介や交流を実施し、相互理解を深めた。

8月27日(木) 北斗茂辺地中学校 11月20日(金) 南富良野高校

10月23・30日(金) 札幌清田高校 11月22日(日) 美国中学校

11月4日(水) 阿寒中学校 12月2日(水) 札幌南ヶ丘中学校

11月10日(火) 芦別高校 12月14日(月) 札幌藻岩高校

11月19日(木) 札幌白楊小学校 2月24日(水) 札幌和光小学校

③ インターナショナルウィーク

在北海道外国公館・通商事務所等協議会を構成する外国公館及び名誉領事館等が連携し、各国の文化や歴史などについて紹介するため、パネルや映像資料による展示・PR展、伝統舞踊や音楽演奏などの文化紹介パフォーマンスを行うとともに、道民のみなさんに外国公館を身近な外国として感じていただくため、各国の総領事などと交流する機会を設定し、異文化交流や国際理解の促進をはかった。

展示・PR 11月25日(水)～27日(金) 札幌駅前通地下歩行空間

文化紹介パフォーマンス 11月25日(水)～27日(金) //

来場者数(延べ人数) 約7,800人

④ 新年交礼会

協議会の構成員である各国外国公館の総領事や名誉領事はもとより、北海道副知事、札幌副市長をはじめとする官公庁の方々、道内経済界や大学、報道機関の代表者、さらには国際交流・協力団体などの代表の皆様方のご参加をいただき、「在北海道外国公館・通商事務所等協議会」主催による新年交礼会を開催した。

1月15日(金) 札幌プリンスホテル 国際館パミール 参加者 65名

・主催者挨拶 中国総領事

・来賓挨拶 北海道副知事、札幌市副市長

・新年の乾杯 JICA 北海道所長

## 3 国際協力の推進

### (1) 開発途上国向けのJICA研修事業への参画

#### JICA研修事業の実施

JICA北海道国際センター(札幌)が実施する研修事業の一部を受託し、研修実施機関とのカリキュラムの調整や研修のコーディネートを行った。

期 間	研修コース名
5月25日～6月12日	国別研修(コートジボアールコミュニティ開発計画策定能力強化)
7月6日～9月14日	課題別研修(上水道施設技術総合(B))
7月12日～8月1日	国別研修(ウガンダ国アチョリ地域コミュニティ開発計画策定能力強化)

10月7日～11月2日	課題別研修（官民連携による地域観光マーケティング）
9月14日～10月30日	課題別研修（認証制度やブランド化を通じた森林資源の総合利用による地域振興）
1月26日～2月10日	青年研修（アフリカ地方行政）
2月1日～3月31日	草の根技術協力（ウツボートル市送配水機能改善協力）事業

## (2) 海外からの研修員の受入

### 海外研修員受入事業

南米圏交流を促進するため、北海道出身移住者の子弟を技術研修員として受け入れ、技術研修を行った。

受入 2名（ブラジル1、パラグアイ1）

研修先 株式会社調和技研  
北海学園大学工学部

## 4 ハイエック後援事業

	実施日	事業名	主催団体
1	5/22～5/24	第30回2015オホーツク「木」のフェスティバル	実行委員会
2	6/19	スウェーデン民族音楽演奏会「ミッドサマー・コンサート」	(一財)スウェーデン交流センター
3	7/17	第1回北海道中国会杯・日中友好ゴルフ大会留学生チャリティ事業	北海道中国会
4	7/28～7/31	“イランカラプテ” ミュージック・フェスティバル2015	実行委員会
5	8/4	日中友好フォーラム in 北海道	北海道中国会
6	9/2～9/11	第22回国際親善交流特別演奏会 (日本・ブルガリア文化交流演奏会)	日本音楽文化交流協会
7	11/4	ウィーン五重奏団演奏会 in 江別	どさんこ青少年オーケストラ協会
8	11/4～11/6	第31回寒地技術シンポジウム	(一社)北海道開発技術センター
9	11/5	日本デザイナークラブ北海道設立5周年のつどい 《キューバン・カルチャー・ナイト》	(一社)日本デザイナークラブ北海道
10	11/21～11/23	第36回NHK杯カーリング選手権大会	実行委員会
11	11/22	『祝祭シベリウスフェスティバル in SAPPORO』 ～フィンランドと北海道を結ぶ“樹の声”～	日本シベリウス協会北海道支部
12	12/19	第3回『「国際田園都市」TAKIKAWAの20年後』 プレゼンテーションコンテスト2015	(一社)滝川国際交流協会
13	1/17	SAPPORO こども領事2016	(公財)札幌国際プラザ
14	2/6～2/11	第57回旭川冬まつり	実行委員会
15	2/14	第26回おおたき国際スキーマラソン	実行委員会
16	2/20	「サハリン魅力再発見セミナー」	北海道宗谷総合振興局
17	2/20～2/21	第28回昭和新山国際雪合戦	実行委員会

18	2/21～2/24	第31回北方圏国際シンポジウム-オホーツク海と流氷-	実行委員会
19	3/26	第4回『魂心(きしん)の人』詩業からの影響 ～GUITAR&VOICE～	北欧の森演奏会企画

## 〔管理部門〕

### 1 会員の状況

平成27年4月から平成28年3月までの間においては、会員の加入が19件（個人会員9件、法人会員10件）、退会が41件（個人会員24件、法人等会員17件）あり、会員数は22の減となった。

区 分	平成27年度 当初会員数	平成27年度(3月まで)増減			平成28年 3月末会員数	
		入会数	退会数	差引増減		
個人会員	一般会員	154	5	19	△14	140
	学生等会員	1	0	0	0	1
	主婦(夫)等会員	3	0	2	△2	1
	シニア会員	19	4	3	1	20
	特別会員	5	0	0	0	5
	個人会員計	182	9	24	△15	167
法人等会員	480	10	17	△7	473	
合 計	662	19	41	△22	640	

### 2 会議の開催

平成27年度においては、これまで次の通り理事会及び総会を開催した。

#### (1) 理事会

##### ア 第1回理事会

平成27年5月19日(火) 13:30～ ホテル札幌ガーデンパレス

出席 理事総数29名のうち17名、監事2名のうち1名

内容 平成26年度事業報告を承認

平成26年度決算を承認

通常総会の招集を議決

理事及び監事の補充選任案を了承

役員報酬等規程の改正を承認

顧問の委嘱を承認

新顧問 遠藤 連 北海道議会議長

##### イ 第2回理事会

平成27年6月22日(月) 14:40～ 札幌プリンスホテル国際館パミール

出席 理事総数29名のうち17名、監事2名のうち2名

内容 副会長兼専務理事を選定

新副会長兼専務理事 越前 雅裕

顧問の委嘱を承認

新顧問 菊谷 秀吉 北海道市町会会長  
棚野 孝夫 北海道町村会会長

## ウ 第3回理事会

平成28年3月24日(木) 13:30～ ホテル札幌ガーデンパレス

出席 理事総数29名のうち20名、監事2名のうち2名  
内容 特定個人情報等取扱規程の制定について承認  
平成28年度事業計画及び予算について承認  
予算の補正に関する専決処分について承認  
公益法人の変更認定申請について承認  
顧問の委嘱について承認

新顧問 本田 幸一 北海道開発局長

## (2) 総会

平成27年度通常総会

平成27年6月22日(月) 13:30～ 札幌プリンスホテル国際館パミール

出席 会員総数648のうち413 (出席55、委任状出席358)

内容 平成26年度決算を承認

平成26年度事業報告を報告

平成27年度事業計画及び予算の理事会決定を報告

理事及び監事を補充選任(理事3名、監事1名)

新理事 川口 裕之 毎日新聞社北海道支社長

竹谷 英一 北海道観光振興機構専務理事

越前 雅裕

新監事 坂本 和彦 北海道体育協会専務理事

## 附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないため、作成しない。